



都市社会工学科 経営システム系プログラム

システム工学研究室

横山 淳一 准教授

- 当研究室では、「システムづくり」を実践します
- 当研究室の卒業生の多くは、システム・エンジニアとして活躍しています

SYSTEMS ENGINEERING

私たちの研究室では、システム工学 (SE: Systems Engineering) を研究しています。より良い製品 (あるいはサービス) の開発と効率的な提供を目的としたシステムづくりが、私たちの主な研究テーマです。すなわち、より良い姿 (あるべき姿: 目標) と現実 (現状の姿: 実態) とのギャップ (問題および課題) を解決していくためのシステムづくりが、私たちの仕事 (志事) です。一般に、このシステムづくりは、PLAN (計画) → DO (実施) → CHECK (評価) → ACTION (改善) からなる一連の手順によって推進されていきます。そこで、私たちは、このシステムづくりを総合的、効率的かつ効果的に推進していくための「体系的な考え方・とらえ方・進め方」についての理論的および手法的な研究開発も同時に行っています。



研究対象とする具体的なシステム (分野) は、産業界のシステム (問題) だけではなく、人間が関係するあらゆる分野の問題にまで及んでいます。とくに、10 数年前より当 SE 研では、健康で幸せな生活を守っていくための保健・医療および福祉 (介護) 分野でのシステムづくりに重点的に取り組んでいます。高齢社会をむかえたわが国では、これまでの GDP や生産性指標に対して、人間性や質的な豊かさを重視した QOL (Quality of Life: 豊かで質の高い生活と人生) の向上を新たな指標にした地域保健医療福祉のシステムづくりが、最重要課題の一つに挙げられています。そこで、私たちは、地方自治体、医師会、歯科医師会、看護協会、社会福祉協議会、NPO、等との連携・協力により、「地域の、地域による、地域のための」地域保健医療福祉システム (地域包括ケアシステム) の構築にむけて、理論面のみならず実践面にも重点を置いた研究活動を展開しています。

TARGETS

PROJECTS

地域包括ケアシステムを構築・評価する

保健・医療・福祉 (介護) サービスをシームレスかつ効果的・効率的に提供するための地域包括ケアシステムが注目されています。本研究では、その地域包括ケアシステムを継続的に適切に評価運営できるシステムの開発を目指しています。

BCM 支援情報システムを開発する

新型インフルエンザや東南海地震の発生等、企業の活動を停止させるリスクが認識されるようになっていきます。一方で事業継続マネジメント (BCM) を行っている企業は限られています。本研究では、BCM を支援する情報システムを研究・開発します。

健康的な生活習慣の定着化を支援する

生活習慣病等の予防には、生活習慣の見直しが必要です。本研究では、生活習慣の記録と可視化を支援する情報システムの開発および生活習慣を変容させるための健康目標の達成を支援する情報システムの開発と評価を行います。

医師会の情報化を推進する

地域医療の中心となる開業医 (診療所医師) が所属する「医師会」の情報化をいかに推進するか研究します。情報化推進の障害および阻害要因を抽出するとともに情報化が進んでいるケースを分析することにより、効果的な推進方法を研究します。

地域・職域保健の連携を推進する

国全体をあげて国民の健康を推進していく気運が高まっています。本研究では、地域保健と職域保健の関係者が互いに協力・連携して保健サービスを提供することで、質の高い保健サービスを効果的かつ効率的に提供するシステムの構築を試みています。

KEYWORDS

問題解決、システムズ・アプローチ、連携システム、保健・医療・福祉 (介護) 分野、支援情報システム、情報ネットワークシステム、包括ケアシステム、医療提供体制、介護保険制度、健康づくりシステム、人材育成、研修システム、等

CONTACT US

システム工学研究室：2号館801B

システム工学研究室 Web サイト：<http://se.sme.nitech.ac.jp/>

